〔応募事業名〕

中山間地域におけるICT利活用によるフレイル・オーラルフレイル予防 のためのベストプラクティス確立・普及に関する調査研究



補足資料

〔事業総括〕

徳島大学大学院医歯薬学研究部

口腔科学部門口腔保健学系

口腔保健支援学分野

尾崎 和美

過疎・中山間地域の現状/"口腔・食(栄養)" 視点での課題

| | 牟岐町 | 木屋平 | 那賀町 |
|--------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------|--------------------------|
| 総面積 (km²) | 56.62 | 100.97 | 694.98 |
| 可住地面積割合(%) | 13.3 | 5.0 | 4.9 |
| 可住地面積(km²) | 7.53 | 5.05 | 34.05 |
| 総人口 (人) | 4,259 | 639 | 8,402 |
| 高齢化率(%) | 48.0 | 58.5 | 46.6 |
| 管轄市町村 | 海部郡 | 美馬市 | 那賀町 |
| 過疎地域自立促進特別措置法 [総務省]指定 | いずれも <mark>"過疎地域"</mark> | | |
| 市町村総面積(km²) | 525.07 | 367.14 | 694.98 |
| 市町村可住地面積(km²) | 51.97 | 75.07 | 34.05 |
| "平成の合併" | 2006年 1)2町村 ⇒ 美波町 2)2町村 ⇒ 海陽町 ・牟岐町 ⇒ 統廃合無 | 2005年 4町村 ⇒ 美馬市 | 2005年 5町村 ⇒ 那賀郡那賀町 |
| 社協 / 地域包括支援センター | 3/3 施設 | 1/1施設 | 1/1 施設 |



【現状①】

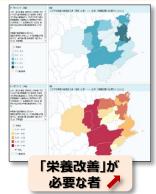
- ・高齢化率の上昇
- ・独居世帯の半数以上が高齢者
- ・ 集落の散在
- ·若年人口の減少
- ・社協統廃合など"平成の合併"に よる人員配置変更の影響

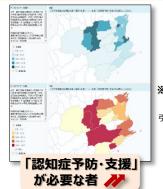
【課題①】

- ・外出頻度/社会参加の減少など 社会活動性の低下
- ・保健/医療/福祉サービスの確保など 社会資源調達/連携の不利性

【現状②】「口腔機能向上必要」「栄養改善必要」「認知症予防・支援必要」な者の経年増加







※二次予防事業等の 新規該当者の各年比率

介護予防アトラス (http://www.doctoral.co.jp/ WebAtlas/201112WebAtlas/top.html) より JAGES (日本老年学的評価研究) Project 調査結果の一部を抽出

【課題②】心身機能低下という視点に加え "口腔・食(栄養)" の視点からの支援が必要な者の経年増加







厚生労働省

オーラルフレイル/フレイル予防の実現に向けての課題解決方法/事業目的

住民も含め、地域ぐるみでの"口腔/栄養"目線の定着が必要

"意識" の共有

住民: エンパワメント (潜在能力引き出し) のための 教育/予防プログラム

⇒ 口腔/栄養健康リテラシーの低下予防/向上

職員:人材育成に向けた意識醸成 のための 教育プログラム

⇒ 口腔/栄養健康リテラシーの向上/ICTリテラシーの向上







(ICTによる) "情報"の共有

- ・咀嚼機能低下"への早期対応の重要性認識と 歯科専門職との早期 かつ 確実な連携(社会資源の適時適切な利用)
- ・栄養摂取状況(喫食量や食形態)の評価(アセスメント)と 多職種連携による協議/ケア支援提供

口腔リテラシー低下 栄養健康リテラシー低下 ・口腔への無関心 無意識的な塩分過剰摂取など 口腔保健行動低下 健康を意識しない食習慣 (口腔清掃習慣/歯科受診) · 栄養健康情報活用能力低下 ·口腔情報活用能力低下 ・食習慣行動の乱れ 生活習慣病発症 ・う蝕/歯周病による歯の喪失 →要介護状態 ·咀嚼機能低下 フレイルティ・サイクル オーラルフレイル 認知症発症 •滑舌低下 転倒など ・わずかなムセ/食べこぼし 体重減少 サルコペニア ・噛めない食品増加

低栄養状態

食欲低下

個人への支援を起点とした分野横断的な 支援体制整備の前提/目標

前提: "口腔・食(栄養)" / "オーラルフレイル/フレイル予防"

"口腔/栄養健康リテラシー低下防止"の重要性を

地域ぐるみで認識

目標: 制度が対象としない者も含めた, 支援が必要な

個人や家族(個別課題)の

- ①早期の "発見/アセスメント/ニーズの把握"
- ②社会資源につなぐための仲介・調整

"情報"と"意識"の共有 を達成すべく

システム的・人的な最適運用の具体化

"ICT共有体制"構築 と "教育/予防" プログラム

医療/歯科医療との連携強化による

オーラルフレイル/フレイル予防の実現に向けた 社会資源の有効利用 (適時適切な利用) と サービス分野間の最適なシステム的・人的連携を 可能にする ベストプラクティス の確立・普及

身体機能低下

消費エネルギー低下

口腔機能低下症

·咬合/咀嚼状態低下

· 摂食·嚥下機能低下

食形態レベルの低下



② 既存医療連携ネットワーク (阿波あいネット) との連携

(ICTによる) "情報"の共有

● "ICT共有体制"構築

① 新規開発: "AWA-i-コンサルSNS" (時系列コンテンツ表示プログラム)

阿彼の中(仲)を纺(つむ)ぐ [徳島の中で医療・介護連携を推進する] "阿波なかつむぎ Project"



"意識"の共有 📦 "教育/予防" プログラム

① 住民:口腔/栄養健康リテラシー向上のための 講演会,

健口体操 プログラム の実施 … 効果検証

② 職員:人材育成に向けた意識醸成 のための 口腔ケア研修会 等

H30年 9~12月

ICT共有体制構築

白山·濱田邦·影治·藤原真 加藤・市川・濱田康・尾崎

- ・AWA-i-コンサルSNS の開発
- ⇒ 既存システムへのバンドルと他施設への整備
- ⇒ 有効活用に向けた体制(人的運用)の整備

H30年 8月

システム導入前の ヒアリング調査

介護支援専門員等

柳沢·調査員

新規ICT機能の仕様策定の根拠情報

端末認証や閲覧権限管理など

個人情報保護に遵守した 厳格なデータ連携と運用

・地域ケア会議の運用 …を把握するための調査

H30年 9月~H31年 2月 健口体操プログラム

地域住民

竹内·藤原奈·学生

- ・健口体操プログラムの実施(意識啓発)
- ・対象者の状況調査(生活/口腔機能/栄養状態)

介護支援専門員等

・筋力運動(いきいき百歳体操(徳島県版))の効果 との相乗性など効果検証





多分野の

コンサル情報

要援護者等情報共有システム(稼働中)

那賀郡那賀町

新規開発ICT機能 "AWA-i-コンサルSNS

"ささいな異常"の正確/迅速な伝達ツール

- ・問診/調査 事項(テキスト情報)のテンプレート化
- ⇒ 選択回答による簡易入力/データ整合性向上 ・写真や音声(嚥下音)データ添付
- ⇒ 分野別登録フォームの整備
- ⇒ 歯科/医科専門各科の "ささいな異常"の 医療職への正確/迅速な伝達が可能



全対象者 (職員・地域住民)

H30年 9~10月

口腔ケア研修会

全事業担当者

… "口腔"目線を取り入れた地域ケア会議の運用構築に向けた 研修講義 (H30年9月/招聘講演/職員)

口腔ケア関連スキルのボトムアップのための研修会

※採取プラークの培養状態/臭気の確認など

… 対面形式の講義および相互実習

… 医学/歯学/栄養学の各専門的立場から全身と口腔および 口腔と食(栄養)の関連性や重要性の啓発・普及に資する 対面講義(H31年1月/フォーラム形式/地域住民・職員)



H31年 1月

SNS機能で

多職種と共

システム導入後の ヒアリング調査

介護支援専門員等

柳沢·調査員

- ・仕様改善、追加要望など導入後の評価情報収集
- ・新規ICT機能で扱う評価指標の現場業務(地域ケア会議や 住民への対応など)での利用可能性および有用性

《事業終了後~》

確立したベストプラクティスの継続的な ブラッシュアップと、構築した"ICT共有体制"の さらなる他地域への普及

藤原奈·学生

⇒ 全県的な支援体制の確立と理想的な 包括ケアシステムの構築・推進



受診勧奨対象者の迅速な捕捉と 情報伝達/共有

2 -

- ⇒ 評価指標の入力継続性の勘案
- ⇒ 医療/歯科医療との連携強化

Tokushima University Graduate School of Biomedical Sciences